

手塚治虫が訴えた在日問題

※2022年9月11日 朝日新聞朝刊 社説「声 voice」から引用。(国際社説担当 箱田哲也)

「わしは朝鮮人だ！それがなぜわるい！！」――。

手塚治虫の作品に、在日コリアンの悲哀を描いた「ながい窖(あな)」がある。

手塚は、在日問題の現実と民族差別に強い問題意識を抱いていたようだ。

古い漫画を思い出したのは、このところ、ヘイト(憎悪)に関わる出来事が相次いだからだ。

8月30日。多くの在日の人々が暮らす京都・ウトロ地区の放火事件で被告に懲役4年の実刑判決が出た。

裁判所は偏見や嫌悪感に基づくヘイト行為を重くとらえたようだが、判決後、本紙記者と面会した被告は「実際は反省していない」と言い放ったという。

かつて、過激なことを叫び練り歩く者たちの話を聞いたことがある。根拠のない事実をうのみにし、妄動に走る安易さに驚いたが、今回の被告の言葉にも似た軽薄を感じる。

事件後に開館した「ウトロ平和祈念館」には多くの人々が足を運ぶ。放火事件によってウトロがさらに知られることになったのなら、何と皮肉なことか。

9月1日。この日は毎年、合わせ鏡で日本の内側を映し出すような日になったと思う。関東大震災から99年。流言飛語により殺害された朝鮮人らを悼む式典は、立っているだけで汗が噴き出る蒸し暑さのなか、都内で開かれた。

小池百合子都知事は今年も追悼文を送ってほしいという要請を断った。被災者も虐殺被害者も、全部まるめて哀悼の意を表しているというけったいな理由で、5年前から送付をやめた。

式典のすぐ近くでは、朝鮮人虐殺を疑問視する団体も集会を開いた。都知事の判断は、こちらの団体側に歓迎されることだろう。

ところで手塚には在日の民族教育を日本人が守ろうと呼びかけた寄稿もある。

その民族教育は、拉致問題などを理由に朝鮮学校を無償化の対象外とするまでにいたった。行政による、お門違いな弱い者いじめがまかり通り、尊厳を認めぬ風潮がさらに広がる。

未来を多く描いた巨匠の切実な訴えは、今なおお色あせないという恥ずべき現実がある。

青商会チャリティーゴルフコンペ

福島青商会主催の第41回チャリティーゴルフコンペ申し込み締め切りは9月27日(火)です。

セッピョルサッカー部関東大会優勝

9月9、11日に行われた「初級部関東大会」で茨城学区初級部サッカー部が参加し、悲願の優勝を成

16	17	18	19	20	21	22
金	土	日	月	火	水	木
			在日同胞敬老の日			チヨチオンオンラインウリマル教室